

タイトル未定

作品集 タイトル未定

東京詰将棋工房

## タイトル未定

### 詰工房 第4作品集について

#### 1 今回のコンセプト

「他人に解説してもらおう」

#### 2 具体案（既刊との違い）

（1）作者の選んだ作品を、他の方に解説して頂く

① 解説のみの参加歓迎。誰の作品を解説したいか、指名できる

② 作者側も、誰に解説を書いて欲しいか指名できる

③ 作品を出す人は、基本的に解説依頼を断らないで下さい。指名が集中した場合は調整

（2）選題について

① 1人3作に厳選（5作は多いという声もあるため）。他の作をエッセイで収録するのは可

② フェアリー可。将棋盤面が出題状態であるものに限る。その他はエッセイ欄で収録

③ 過去の作品集等の刊行本収録作の採録は不可

（3）全体に横書きこれは趣味の

問題。解説に英字が使われることが多くなったと思えるので。

#### 3 作稿

（1）基本的に、所定のフォーマット（マイクロソフト Word）で作成して頂く。事務局とはメールでやりとり。

（2）Word が使えない人は、平文テキストデータでも可

（3）所定フォーマット以外で作稿する場合は、スケジュールの1カ月以上、早めで進めて下さい

#### 4 スケジュール

10月 フォーマット確定

11月 作品選題の締切

12月 解説者の確定

3月 原稿締切

4月 微調整経て原稿確定

7月 印刷発刊

#### 5 その他未定事項

（1）作品集の題名

タイトル未定

(2) 頒布方法

(3) 価格 (厚みによる)

それぞれのページの見本を示します(まだ最終確定ではありません)。

小湊 奈美子

作者のことばを書きます。

内容は、自己紹介、作品選題の意図など自由で結構です。

解説執筆者が了解すれば、解説執筆者がこの欄を書くことにしても構いません。その場合は、欄の最後に執筆者名をカッコで記載して下さい。

ここまで約 14 字×10 行。

(金子 清志)

〔第 2 番〕

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						馬	飛		一
					皇	科	歩	王	二
						桂			三
				歩		科			四
						歩			五
						龍		桂	六
									七
									八
									九

持駒 金金

「作品名」

(フェアリーはルール記載)

〔第 1 番〕

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
								科	二
						科			三
									四
					玉		王		五
							桂		六
									七
							桂		八
									九

持駒 角角歩

「作品名があれば記載」

(フェアリーはルール記載)

〔第 3 番〕

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
		歩							五
	桂	王							六
									七
玉	馬	歩							八
桂	桂								九

持駒 歩17

「作品名があれば記載」

(安南打歩詰 33 手)

小湊 奈美子 作

(第1番～第3番)

解説 金子 清志

解説掲載ページの見本です。

氏名は、姓名の間を半角一文字空けます。

ペンネームの場合は空けなくてもよいです。

作品の番号は、後で順番に振り直しますので、原稿作成段階では第1番～第3番で仮置きしておいて下さい。

ただし、解説文の中に作品番号を書く場合は、後で変更する必要がないように、作品図面の上部の記載から「テキストのリンク貼付」して下さい。

もしリンク貼付がうまくできなければ、該当箇所を赤字にしておいて下されば、全体編集が完了した後に修正します。

将棋図面は、図面作成ツールを公開しますので、これを使用して下さい。ツールは、Excel2007(以上)で動作する、柿木棋譜ファイ

ルを画像に変換するものです。画像作成前に編集すれば、フェアリーでも対応できます。

〔第1番〕

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
								飛	二
						飛			三
									四
						玉		王	五
							桂		六
									七
							桂		八
									九

持駒 角角歩

24 角、同桂、16 歩、同桂、24 角  
まで5手

〔第\*\*番〕の前に空行を1行、手順(作意、変化、紛れ)の最後に空行を1行、解説に入る前に空行を1行、空けて下さい。

図面と手順の間は行を空けないで下さい。

図面と手順の間には、記載の必要があれば作品名とフェアリー

のルール名を記載します。記載方法は、問題掲載ページの例と同じです。

図面の画像では、成小駒は、昔の詰バラ方式の略記で記載されますが、注釈は不要です（冒頭で一括して記載します）。手順の中では、略字でなく「成銀」などを使用して下さい。

棋譜の数字は洋数字 2 桁です。「生」でなく「不成」。手の区切りは「、」。手順の最後は、半角空白一文字空けて「まで\*\*手」で最後は「。」を付けない。

手の位置を縦方向に揃えたい場合や、手の途中で入る改行は気になる場合には、適宜に改行を使用して下さい。

フォントサイズは変えての調整は、しないで下さい。

末尾に出典を記載します。出典名称は略さずに記載（例「近将」ではなく「近代将棋」。長い場合は 2 行以上になっても可）。本作品集が初出の場合は「(未発表)」

として下さい。日付の表示は、月刊誌の場合は「2013. 9」のように、日刊紙の場合は「2013. 9. 22」のようにして下さい

(蟹のカノン第 2 番)

〔第 2 番〕

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						𪛗	飛		一
					皇	料	歩	王	二
						桂			三
					歩		料		四
							歩		五
						龍		桂	六
									七
									八
									九
持駒 金金									

(a) 23 金、(1) 同歩、24 桂、同桂、16 龍、同桂、24 桂、(2) 同歩、23 金 まで 9 手

(a) 24 桂、同桂、23 金、同玉 以下逃れ

(1) 同玉、34 金、14 玉、24 金 以下早い

(2) 13 玉、11 飛 まで同手数駒余り

変化紛れの記載は、半角文字  
(ここだけカッコは半角)で紛れ  
を (a) (b) (c) ・ ・ ・ 、変化を  
(1) (2) (3) ・ ・ ・ として下さい。  
紛れ手順中の別着手や、変化手順  
中の変化などは (b-a) (2-1) など  
として下さい。

変化紛れの記載は、段落のイン  
デントで「ぶら下げ」(ぶら下げ  
幅は1文字)を使用して下さい。  
(蟹のカノン 第49番)

〔第3番〕

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
			歩						五
		桂	王						六
									七
									八
玉	毎		継						九
桂	桂								

持駒 歩17

(安南打歩詰 33手)

{77歩、同角不成、88歩、同角

不成} ×8、77歩 まで33手

繰り返し手順は、全角中かっこ  
「{と}」で括って下さい。

繰り返し手順に記号を付ける  
場合は、大文字の半角英字で  
「{・・・} = A」として下さい。  
(詰将棋パラダイス 2006. 10)

【以下、フェアリー特有の注意】

フェアリーのルール名称は、ル  
ール表示は略さずに(「ば自」な  
どとせず「ばか自殺詰」)長けれ  
ば2行以上になっても可です。ば  
か系統・かしこ系統の別に関係な  
く、手数を記載して下さい。

その他の、フェアリー特有の手  
順表記は、詰パラ表記に準じるこ  
とにします。

フェアリー駒は、中将棋等や中  
国象棋などは漢字、チェス駒は  
unicode 文字 (0x2654~0x265f)  
を使用して下さい。一文字で表示  
できないフェアリー駒は、応相談  
とします。

## エッセイ等の書き方

金子 清志

エッセイ等の書式の説明です。

フォーマットはマイクロソフト Word 用のファイルです。ファイルそのものは、詰工房 Web ページ (<http://www.tsumekobo.org>) で公開しますので、ダウンロードして使用して下さい。

ファイル形式は、Word2007 (以降) バージョン用の .docx ファイルです。Word の古いバージョンで .docx が使用できない環境の方がいれば、同時に .doc ファイルを公開します。 .doc ファイルで作成された原稿は、金子の方で .docx ファイルに変換します。この際、細部が正しく再現されているか、返送する PDF ファイルでご確認をお願いします。

ページ 1 段は、約 14 字×25 行です。「約」とは、句読点や英数字の自動幅調整(ジャスティフィケーション) で変わるため。

Word が使えない環境の方は、

見本を参考にテキストデータを作成して下さい。

ページ数は自由ですが、行数を調整して、なるべく 1 ページ丁度に近づけて下さい (特に、数行だけ次ページにはみ出すのは避ける)。余白が出た場合、金子において適宜に埋め草で処置します。

文字は「MS 明朝 10 ポイント」を基準とし、太字、斜体、<sup>ルビともいう</sup>ふりがな、下線などの Word2007 で可能な修飾は OK です。文字に重ねた網掛けは、使わないで下さい。

日本語はすべて全角(半角カタカナは使用しない。カッコも全角使用)、句読点は全角「、と。」使用。アルファベット、数字、空白文字は半角、年は西暦に統一します。意図的に違う記述をした場合は、送付時にコメントを下さい (誤記とみて修正する恐れあり)。

将棋図面は、図面作成ツールを公開しますので、これを使用して下さい。将棋以外の図面は、自己責任の画像添付をお願いします。